友愛

題字　前渕　幸信

社会福祉法人　友愛会

亀　岡　友　愛　園

〒621-0251　京都府亀岡市本梅町平松ナベ倉１１番地
TEL：0771-26-2115（代）FAX：0771-26-3557

《特別養護老人ホーム》
TEL：0771-26-2115
FAX：0771-26-3557

《デイサービスセンター》
TEL：0771-26-5432
FAX：0771-26-3557

《居宅介護支援事業所》
TEL：0771-26-0039
FAX：0771-26-5929

《ホームヘルプステーション》
TEL：0771-26-0038
FAX：0771-26-3557

亀岡市西部地域包括支援センター
京都府亀岡市本梅町平松ナベ倉 12
TEL：0771-26-0056
FAX：0771-26-5929

高齢者あんしんサポートハウス友愛園
京都府亀岡市本梅町平松原谷 24-2
TEL：0771-26-2310
FAX：0771-26-0880

ホームヘルプステーション中矢田
京都府亀岡市中矢田町久保垣内 22-31
TEL：0771-20-8382
FAX：0771-20-7917

地域密着型事業　すずらん

〒621-0806　京都府亀岡市余部町中条１７番地
グループホーム・小規模多機能ホーム　TEL・FAX　0771-20-2840

≪友愛会HP≫
yuaien.or.jp

≪インスタグラム≫
YUAIKAI_KYOTO

社会福祉法人友愛会　後援会　　振込口座　01030-8-42554

機関紙『友愛』発行に当たり

（社福）友愛会　理事長

前渕　功

社会福祉法人友愛会は創立より半世紀にわたり高齢者福祉事業を継続させていただいてきました。それは、ご利用者、ご家族、そして地元自治会をはじめとする地域の皆様方のご理解とご支援をいただき続けている賜物であります。

そして、共に事業を作り上げてきていただいた職員の皆さんと活躍があったからであります。

全ての皆様に感謝をもってお礼をお伝えいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄され、ウクライナ・ロシア戦争等の世界情勢の影響、光熱費をはじめとする物価高騰によりここ数年、施設の経営は大変厳しいことになっています。

加えて、福祉人材の確保が困難で慢性的な人材不足であります。そのような中、職員の皆さんには苦労をかけていることはとても忍びなく思います。

人材不足の打開策の一つとして、外国人人材の採用は当法人においても二年前より進めていて、現在四名のベトナム出身の方に働いていただいています。四名共通して言えることとしてあるのが、ご利用者に対してやさしくて丁寧であること。そして、日本語と介護の技術を習得する意欲を持っていることです。

日本人の先輩職員は、指導を通して介護の仕事を始めたころの真っ新だった自分に立ち返ることができますし、介護技術の基本を思い出すことができるようです。これらの機会は、互いが支え合い、高まり合える職員と集団を作り上げることを加速できると考えています。そしてその結果は、ご利用者への満足につながることとなると確信するものであります。

物価高騰や人材不足の課題、そしてつやってくるかわからない感染症や自然災害等にも対応し、地域にある社会資源として友愛会の事業を必要としていただいている方にお応えし続けることのできる法人を目指し続けていきたいと考えています。

ゆうあい写真館

１月１日には夢・ほのぼの神社に参拝し今年１年の願い事をお祈りします。

職員手作りのおみくじも楽しんでいただけました。

地域の皆様との交流を兼ねた夏祭りでの一コマ

２月は豆まきの代わりに鬼のピンをボールを投げて倒してもらいました。

外食気分を感じていただきたいと思い、餃子パーティーを開きました。

「手先も動かさなあかん」と毎日の習慣にしておられます。

ガレリアかめおかのバラ園へ皆さんとお散歩です

京都サンガFCの選手と「棒サッカー」で交流しました。
「想像したより激しい！」と選手もびっくり!!

本梅町の文化祭に出展し素敵な作品を、地域の皆さんにも見ていただく事が出来ました。

感謝をもって

高齢者あんしんサポートハウス
ご利用者様
中村正子様（九十六歳）

小学校一年生の時に父が亡くなり、祖母に育てられました。毎晩、祖母がご詠歌をあげており、私は毎日祖母と一緒にいたためご詠歌を覚えてしまい、祖母から誉められ大切に育てられました。

九歳離れている兄は、大東亜戦争で中国へ行き戦場で足を銃撃され負傷しましたが、中国の民家の方に身を寄せて助けて頂きました。日本へ帰れるように香港まで送ってもらい、帰国ができたという奇跡の話を兄から帰国後に聞きました。そして、兄は、旧南丹病院に入院しましたが病気の為亡くなりました。

一番嬉しかったことは、亀岡高等女学校の一年生の時、国語の先生が「母の日の感謝」の作文を書くように言われ、何を書いたのか全く記憶はないのですが、先生が一番良かったと私が書いた作文を読んで下さいました。褒められたことがとても嬉しく、書くことや本を読むことが好きになりました。

今思えば、早く亡くなった父が私を守ってくれたと思います。自分の周りの祖母、母、兄、姉から大切に育ててもらい、「感謝」の思いでいっぱいです。自分に家族ができ、今九六歳になりますが、高齢者あんしんサポートハウス亀岡友愛園に入所させてもらい、職員の皆さんによくしてもらい、友人と一緒に生活ができ嬉しく思います。「感謝」の気持ちを忘れず、残り少ない人生を送りたいと思います。

特集 我がこと

くよくよせずにのんびりと

高齢者あんしんサポートハウス
ご利用者様
中川節子様（96歳）

毎日くよくよしないで、のんびりと生活することを心掛けています。亀岡友愛園にお世話になり、三食栄養のあるお食事を頂き、何不自由することもなく、不満もない毎日を楽しく過ごしています。

若い時は技芸専門学校洋裁の先生として生活してきました。手先の細かい仕事が好きでした。

しかし、私はお料理を作ることが好きでなく子どもの時から母のお手伝いをした記憶がありません。

女性でありながら料理することが好きでなく、出前ばかり注文した記憶もなく、そのあたりにあるお茶漬けで済ませていたのでしょうか。結婚した時はどうして生活していたのか今となっては忘れていることが幸いであります。

長寿の秘訣は、物事を深く考えずにくよくよせずのんびりと生活することだと思います。心掛けていることは、毎日友人と三〇分以上会話をすることと亀岡友愛園の体操に毎日参加することです。

亀岡友愛園で元気に過ごせる事は私にとって一番幸せなことであります。あと四年で一〇〇歳を迎えることになりますが、病気をすることなく元気に過ごしていきたいと思います。

特集 我がこと

４つの秘訣

高齢者あんしんサポートハウス
ご利用者様
中村いく様（99歳）

亀岡市本梅町平松に位置する高齢者あんしんサポートハウス亀岡友愛園では、お部屋は個室で自由に使えます。たくさんの友人も出来て、午後は共にレクレーションに参加して、あっという間に一日が終わり夜になります。皆さんと一緒に夕食を楽しみ、自分のお部屋へ帰り、安心して夜を過ごすことが出来ます。明日の朝が楽しみで一夜を過ごしています。

こんな生活が過ごせるとは夢にも思わなかったです。日々楽しく健康に心掛けながら、気ままな生活を過ごしています。

知らぬ土地でこんな幸せがあるなんて、もったいないほど毎日が感謝の他ありません。今日一日一日を大切に知り合った友人と仲よく生きていきたいと思います。

亀岡友愛園の職員の方々にも感謝・感謝です。

今年の九月二五日に九九歳の誕生日を迎え感謝の思いでいっぱいです。これも皆様のお蔭で長生きが出来嬉しく、有り難く思います。

長生きの秘訣は、出された食事を美味しくいただくこと、自分がやったことや気づいたことをノートに書き留めておくこと、クロスワードの本を買ってもらい頭の体操を毎日すること、よく寝る事の四点です。生ある限り健康で楽しく過ごしたいと思います。有難うございました。

支えあう喜び

グループホーム　すずらん
ご利用者様
坂本千鶴様

私は保育園や幼稚園とか園児対象の施設で働いていました。お母さん方と接する難しさはありましたが、会う人、会う人に支えてもらっていました。また、近所の方にもよくしてもらい感謝・感謝の気持ちです。

現在は、首の手術や足の手術もありましたが、一緒に暮らしている皆さんの顔を覚え仲良しになり、笑顔をもらうだけで支え合っていると感じ嬉しいです。

友達が出来て何気ない会話やお互い運動に誘ったり、家事活動を一緒に行っています。

ここの人達がおられなかったら支えはない。アドバイスもあるけど、良いことを言ってくれることがやる気や元気、意欲が出てきて支えられている。

今後も病気にならず欲張らず、自分の出来る事に打ち込んで支え合って生きていけたらうれしいです。

我がこと特集

支え合う

小規模多機能ホームすずらん
ご利用者ご家族様　**並河聡也様**

一つ屋根の下で大家族が暮らすという生活様式から、最近ではすっかり親とは別居で暮らすという様式が増えるようになりました。

親の面倒を子が見るということに変わりはなくとも、その面倒の見方は随分と変化しました。私自身もご多分に洩れず親とは別居で暮らしております。認知症の母を父が支え何とか暮らしていたのですが、その父が令和四年五月に急に寝たきりの状態となり、どうしたものかと困っていたところ手を差し延べて下さったのが、すずらんさんでした。急な依頼にも関わらず、素早く対応して下さり、細やかなサポートを提供して下さいましたことに、どれだけ精神的に支えて頂いたことか。スタッフの皆様にただただ感謝・感謝です。

その後父も亡くなり、現在母が引き続きすずらんさんでお世話になっております。すずらんさんの温かい心の通ったサポートのおかげで、母は日々を心地よく過ごしております。

元気な頃の親を知っているだけに、今のありのままの姿を受け入れるというのは難しく、ついつい言葉も尖って喧嘩が絶えませんが、母が望む長年住み慣れた場所で過ごすことが叶う様、すずらんさんの支えを頼りに本人・家族共にがんばっていきたいと思います。

つながり

デイサービス
ご利用者ご家族様　**奥　勝子様**

亀岡友愛園にお世話になる事になったきっかけは、歌垣教会と亀岡教会（丹波新生教会）は戦前から親しくお世話になった関係にある事から、友愛園創立者前渕幸信様が祈りと御言葉による理念によってはじめられた友愛園である事を存じておりましたからです。

老人ホーム亀岡友愛園が出来上がった頃から花の日訪問で教会学校の子供たちとさんびとお祈りとお花をお届けしました。皆さん喜んで下さいました。

後日、前渕様より子供達へやさしい御言葉のお手紙を頂き、とても喜んでいました。

年月を経て、夫が御世話になる事になり、神様の御導きと感謝しております。

昨年十二月に二人で見学させて頂き、今年一月から夫はデイサービスを利用させてもらっています。出かける日の朝はいろいろ不安の様子です。何回も話をして「車でお迎えに来て下さるから安心よ」「友愛園では皆さん親切にして下さるから心配ないですよ」といって送り出します。帰ってきました時は必ず「楽しかった」と喜んで家に入ります。私も安心しています。

夫は自分から他の方に話をすることが億劫になって来ています。デイサービスで用意して下さるプリント、計算や名前も書き、まだできることをとの思いから自前のノートを持参してもらっています。

みことばや、地域のコーラスに入っていたので昔の歌詞やさんびかを書いてもらっています。楽しく書いてもらえるように思って絵もかきそえています。絵をかくことが好きなので、今では私も楽しみになっています。

今後については、夫は昔から積極的に運動するタイプではないので足腰から衰えるのではないかと心配しております。

デイサービスでは普段からとても良くして頂いていますこと大変喜んでおります。2人で長く暮らしてゆける様に、引き続きご協力の程、よろしく御願い致します。

ケアマネージャーの渡壁様
送迎して下さる皆様
デイサービスの職員の皆様方
優しくまごころで接して頂いていますこと心から感謝しております。

我がこと　特集

友愛園さんとのご縁

特別養護老人ホーム

ご利用者ご家族様　**三好明彦様**

私たち家族が京都市から亀岡市に移り住んでから今年で三十数年が経ちましたがその頃の両親はまだ六〇歳前後と若く元気にしておりましたので両親の介護や家のバリアフリーや介護保険等ましてや老人介護施設などについての知識を学ぶ事などは全く頭に無く生活をしておりました。両親も七〇代、八〇代になっても元気に過ごしており私は何の不安もなくこのままの生活が続けばよいと勝手な希望を持つも心の何処かに一抹の不安を抱えていました、というのは私が亀岡市役所に転職しそこで家族が介護状態になった時に介護に関わる様々な事柄が発生しそれを解決しなければいけない事を知り現実に向き合う第一歩となりました。しかし両親は九〇歳に成るまで介護保険を使用せず京都府からお祝い金をもらうぐらい元気ですし特に母親はバスで京都市内までＪＲで買い物に行くぐらい元気でした。父親も八〇歳で車を買い替え京都迄母親と京都に出かける生活でした。

しかし突然介護の現実がやってきました。

母親が九二歳で転倒骨折入院することになり要介護申請の必要に迫られましたが幸い少しは介護申請等の知識を学べていましたので要介護二認定を受けリハビリに励み二か月後退院家でリハビリとデイサービスに行く事となりひと安心と思いきや退院一週間後に又も転倒大腿骨骨折との事で再度入院要介護四に認定されましたが私達は全員仕事の為家での介護は厳しくそのため早急に今後の方針を決める決断に迫まれました。

ケアマネと相談し当面介護保険老人施設に入所希望しお世話になりましたが入所期限の事がどうしても頭から離れず並行して特別養護老人ホームの申請を行い幸いにも友愛園様にお世話になる事が出来ました。

友愛園さんではわがままな母親に対しても皆さまの温かいご支援で面会の都度元気な姿を見て大切にして頂いていると家族で感謝しておりました。

その後体力低下が徐々に始まり亡くなる数日前に居室で面会をして少し話をしましたがその後施設の皆様に見守られ安らかに九四歳で旅立っていきました。

元気な父親も昨年六月に肺炎から入院し要介護一から要介護四になり家に一人状態では生活ができない為、特別養護老人ホームを希望し出来れば友愛園さんがいいねと話合いをし申し込みをさせていただき不思議なご縁もあり父親も入所させていただく事となりました。

父は今年九八歳になりますが面会に行くとますます元気になり一〇〇歳になったら職員の皆様とでお祝いの写真を撮って貰うからそれまで元気でと伝えています。

こうして施設の皆さま方のいつくしみの心のお陰で両親と私達が穏やかな生活をおくれて友愛園さんにお世話になり本当に良かったと思う今日この頃です。

友愛園宝箱

今思うこと

高齢者あんしんサポートハウス
宿直スタッフ　**西田康雄**

サポートハウス宿直スタッフ及びデイサービスドライバーとして友愛園にお世話になって二年が過ぎようとしています。

人生は様々なことがあり、この二年間にも出会いと別れがありました。出会いのなかで、ご利用者のお話を聞かせていただくことで感動したり、一日一日の大切さを日頃感じることが多々あります。

ご利用者にとって日々の暮らしの中で楽しく過ごす環境が大切であり、人とのふれあいが刺激となり、充実した居場所となっていることで生きる喜びを得られるものかと感じます。

サポートハウスでもいろいろな行事があり、参加されたご利用者の声が聞こえてきます。

朝起きてカーテンを開けに行くとき、庭に咲く花や野菜の育ち、長閑な空気の中で鳥のさえずり、四季折々の変化で環境の大切さを感じます。

ご利用者の方で朝毎日玄関先掃除をされて自宅のように綺麗にされる、そんな姿をみて自分も生き方を教えてもらう一コマもあります。

夜に咲く花　月下美人
サポートハウスにて

宿直の折には「お疲れ様無理しないように。」とやさしく声かけしてくださる方、日々の出来事をいろいろとお話をされ教えていただくこともあります。このようなことが人とのやさしい絆だなあと思います。

今思うこと人間は絶対に老いるけれども、心の持ちようで人生は変化することがあることです。サムエルウルマンの詩「青春」をいつも人生訓として肝に銘じています。

人は年を重ねるだけで人は老いない。理想を失うときにはじめて老いてゆく。

歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失うときに精神はしぼむ。年は七〇歳であろうと二〇歳であろうとその胸中に抱くものはなんであるか。日々の愛慕心、自然の事象：空のきらめきに感動　子供のように何事にも探求心　人は信念とともに若く　疑惑とともに老いる

人は自信とともに若く　恐怖とともに老いる　希望ある限り若く　失望とともに老いる今やっていることは健康づくりです。

スポーツジム　水泳　テニス　ゴルフ　ボウリング　カラオケ　西語・英会話　時間を見つけて出来るだけ身体や頭を働かせています。

毎日が楽しく過ごせるのは自分の身体や精神に負けないこと　窮地に陥っても何とかなるさの心意気で頑張っています。

友愛園 宝箱

支え合い共に生きる

グループホーム　すずらん
チーフ　名倉えい子

私は認知症対応型共同生活介護すずらんに令和二年十月より入職させていただきました。

十七年前はヘルパー二級で介護の仕事も未熟でデイサービス・訪問入浴・認知症デイサービスと部署異動もあり、しんどい時も楽しい時も利用者さんの会話や職員同士の力や家族の支えでずーっと今まで仕事ができてきたと思います。デイサービスの利用者さんが特別養護老人ホームに入所される事となり「あなたにお風呂を入れてもらえんようになるのは淋しい。」と言葉を頂き、私も利用者さんの一部分でも支えになり私も支えてもらっていたんだと感じました。

すずらんグループホームに入職した頃は、「よぉ！　新人さんかぁ」と利用者さんから声をかけてもらい、とっても嬉しかったです。入職時はコロナ禍で生活が従来通りではなく、でも、春と秋にドライブは、とっても楽しみにされて、散歩も「あんた連れて行ってくれるん。ありがとうなぁ。」と、笑顔がありこちらも笑顔返しで心が和みます。

入職して二年半でチーフの役職を頂き悩む事も沢山あり不安の塊のまま仕事をしていては駄目だと思い切って上司に相談すると気持ちも楽になり、仕事が出来るようになりましたが、わからないことも一杯あり、まだまだ勉強だと思っています。

一緒に働く仲間のアドバイスをもらい、毎日の業務が出来る事、足りない所は助け合い、足りる様に、今後も支え合うチームで活動していきたいです。

九名のご利用者さんが安心、安全なその人らしい生き方を支えていくお手伝いを理念を大切に寄り添っていきたいと思っています。

支えられて

小規模多機能型居宅介護
介護員　人見麻衣

二二歳になる春、すずらんに入職させて頂きました。社会人経験なし、介護経験もなし、常識もなし。そんな新人職員でした。

そんな私が最初に直面した壁は、食事作りでした。料理を全くしていなかったので、みそ汁すら作れず。ご利用者に味噌汁の量を教えてもらったり、味見をしてもらったり、一つひとつ聞きながらしていました。慣れない業務にバタバタしている時も、手伝ってもらいながら乗りきっていました。また、失敗をして迷惑をかけ落ち込んでいる時も「大丈夫やから、そんな顔せんとき」と慰めてもらい、背中を押してもらった優しさは忘れません。

そんな失敗ばかりの日々を支えてくれたのは、先輩職員の皆さんでした。初めてのリーダー業務の際、記録を書くのに大苦戦。何も書けずにいると「表情は？」「話していたことはない？」と記憶を辿るように声をかけてもらい、自分の力で書けるように導いてもらいました。書き終わった時には定時から2時間も過ぎていましたが、「お疲れ様」と明るく声をかけてもらった事を今でもしっかり覚えています。苦しい時も悩んだ時も、先輩職員や同僚からの温かい言葉でたくさん救われてきました。誰の役にも立てないと弱気になった時、「今のままでいい」「できる事をしたらいい」と折れそうになった心を何度も何度も支えてもらいました。

たくさんの人に支えてもらい、今日の私がありますが、私自身はどれだけの人を支えられたのか。支えられるほどの職員になれているのか。「皆のことを支えられる人でありたい」という気持ちを持っていますが、力不足を感じる日々です。支えてもらった優しさを返せるように、支えてもらうばかりではなく支え合える関係になれるように日々成長していきたいと思います。

終　始　一　貫

ユニット型特養
副主任介護員
小　寺　裕　太

皆さま初めまして。私は特別養護老人ホーム亀岡友愛園にてユニット副主任をしております小寺です。

私は平成二五年九月に社会福祉法人友愛園に入職し、今年で勤務歴十二年目になりました。

十一年間従来型チーフとしてご利用者様の生活援助と職員の育成、ユニット内での業務の管理を行い、ご利用者様が安心して生活できる環境づくりに尽力してきました。

昨年三月より一階ユニット勤務への異動と、同時にユニット副主任という役職を頂き新しい環境で仕事をさせていただく機会を頂くこととなり、また同じ施設内でありながらも今まで働いてきた従来型とは環境も変わり、ユニットへ異動して三か月ほどは不安でいっぱいでした。

不安だった理由としては異動してきて早々に副主任として一緒に働く職員の方々に、ちゃんと受け入れて頂けるだろうか？ご利用者様にご迷惑をお掛けしないように早くご利用者様の情報や業務を覚えないと。といろいろなプレッシャーがありました。

友愛園での勤務歴は一〇年を超えていますが、新しい環境では新人職員のころと同じ緊張感があったように思います。食事の配膳方法や業務の一つ一つが働くユニットによって環境も変わってきます。自分が今まで従来型で経験してきたこととユニットでの業務内容の違いに初めは少し戸惑いを感じることもありましたが、同僚のスタッフに丁寧に教えてもらいながら覚えました。

また私がわからないことに対してご利用者様から「これはこうしまんねんで」と笑顔で優しく教えて頂いたり、「あんたが来てくれてよかったわ」と嬉しい言葉をかけて下さることも多く、ご利用者様のあたたかなサポートがあったことで従来型より異動してきて一年ほどになりますが、現在では不安も取り除け楽しく仕事をさせていただくことが出来ています。

私が異動してきてからも従来型で働いていた時の仲間が異動してきたり、新人職員も二名入職されてきました。これからも仲間を大事にし仲間と共に入所されているご利用者様が今後も安心して生活をしていけるように、新たな体制で一階ユニットチームで現場を盛り上げていけるように尽力していきたいと考えています。

我　　事

亀岡市西部地域包括支援センター
主任ケアマネジャー
前　渕　　豊

昨年今まで所属していた亀岡友愛園居宅介護支援事業所から亀岡市西部地域包括支援センターへ部署替えがあり、新しい仕事に取り組んでいます。

亀岡市西部地域包括支援センターは亀岡市から友愛会に委託された事業で、みなさんが住み慣れた地域でいつまでも健やかに安心して生活が出来るように市区町村や介護、医療、福祉などの関係機関と協力してさまざまな面で支援を行うための、高齢者相

友愛園 宝箱

談窓口”です。

二〇〇五年の介護保険法改正により地域包括支援センターが創設されており、亀岡市西部地域包括センターは二〇一二年に設置されました。

西部地域包括支援センターには主任ケアマネジャーの他、社会福祉士、看護師二名がおり連携して総合的な支援を行っています。介護のこと、健康のこと、お金や財産管理のこと、家族のこと、ご近所の高齢者のことが心配等相談内容は多岐に渡ります。

このように地域包括支援センターの役割が多岐に渡るため、業務の内容が見えにくいといった声が聞かれます。実際地域包括支援センターを知っているかどうかアンケートを亀岡市でとったところ十五％と低い数値が出ています。

地域包括支援センターの業務が多岐に渡るということは情報も集まってきます。また情報発信も地域包括支援センターの重要な業務であると考え今年度は今まで以上に地域に出ていくことを計画し地域の文化祭、ふれあいサロン等に参加しています。

本梅町文化祭では二日間にわたって看護師による健康相談のブースの出店、東本梅町文化祭では福祉用具の業者とコラボをし、電動カートの試乗会を開催しました。地域の皆さんと地域包括支援センターとの顔の見える関係づくりの一旦を担えたかと考えています。

地域包括支援センターの業務は上記の他にも要支援と認定された方の介護予防ケアプランをたて、出来るかぎり自立した生活が出来るように支援をすることも業務のひとつです。

生活上の困りごとを補うサービスをプランに組み込むことも大切ですが、地域や家庭の中で生きがいや役割を持って生活が出来るように支援することも大切であると考えます。

健康で長生きをするためのコツは何があるのか。自分自身の今後の生き方は何を柱に据えればよいのか。業務を通じて勉強させて頂いていると思っています。

以前担当をさせてもらっていた方が「当たり前のことですけれど、私お年寄りになるのは初めてですから、何もわかりません。前渕さんはこれまでたくさんの人を見てこられたでしょう。わからないことだらけだから教えてくださいね。」と話されたことがあります。その時どのように返答したかは覚えていませんが、何げないこの言葉は私の中でとても心に響いてずっと残っています。

人生の残り少ない時間を前向きに謙虚に過ごされたこの方の姿勢が私にはとても貴重な人生の助言をもらえたのではないかと思えるのです。

在宅へこだわり

亀岡友愛園居宅介護支援
ケアマネジャー
渡 壁 義 哉

担当の利用者様にお独り暮らしで生活されている男性がいます。九〇歳を超え、認知症もあり、足腰も弱り、転倒を繰り返し何度も怪我をされています。

お独りでの在宅生活は困難ですが、家族様は遠方にいらっしゃるので十分な介護ができない状況です。家族様は施設の入所を希望されており、ケアマネジャーとしても、本人様が安全に生活して頂くにはその方が良いと思い、入所をお勧めしていますが、本人様は頑なに拒否されています。

「一生懸命働いて、この家を建てた。自分は最期までこの家で生活して、この家で死ぬんだ」と言って在宅にこだわっておられます。現在は、平日はヘルパーに午前と午後に入っていただき、食事の支度や掃除、洗濯、買物、服薬の促しなどの支援、土日は遠方の家族様に来ていただき、何とか日々を過ごしておられますが、関係者の心配をよそに、現在の生活について本人様にお伺いすると、満足そうに頷かれます。

利用者様が望まれる生活と現実の問題のギャップに、どのようにケアプランを作成すれば正解なのかわかりませんが、（家族様の心配と支援するヘルパーさんは毎日大変ですが）本人様のその満足そうな顔を見ていると、それ以上、何も言えない自分がいます。

ホームヘルプステーション中矢田
（訪問介護）
TEL 0771-20-8382
FAX 0771-20-7917

介護のことなら
おまかせください！
身体介護
食事・入浴・排せつ・着替えの介助
生活支援
掃除・洗濯・買い物・調理
介護者の負担を軽減し、できるだけ自立した生活ができるように援助いたします。
★ご利用については介護支援専門員（ケアマネージャー）にご相談ください。

本梅町の事業所で長い間サービス提供責任者を任されていた私は、ヘルパーさんの応募が無いことで悩み、これは事業所が本梅町という町中から離れた場所にある事が一つの原因では？ともっと町中に事業所があれば、ヘルパーさんの応募も増えるのではないかと勝手に思い描き実現は難しいと思っていた事が令和五年五月に現実となりオープンの運びとなりました。

この中矢田事業所は初代理事長のご自宅をお借りしています。私にとっては初代理事長に介護が必要な頃に支援に入らせて頂いていた事もあり馴染み深い場所でもあり、ご縁、繋がりを感じます。

開設して間もない頃に、中矢田の事業所で受けた新規のご利用者様のご家族様から　歴史のある「友愛園」老舗のヘルパー事業所なら安心して任せられますと言葉を頂いたことがありました。この言葉は　職員みんなで築いてきた証だと思いました。

本梅町の事業所に居た頃からの信頼を、中矢田事業所で失くすことが無い様に、今までと同じように、一人ひとりのご利用者様に真摯に向き合い丁寧な対応を心掛けていきたいと思います。

令和５年５月１日に「ヘルプステーション中矢田」を開設致しました！

ホームヘルプステーション中矢田
係長　伊藤真由美

月別献金者ご芳名

社会福祉法人友愛会のために用いてくださいと尊い献金を寄せてくださった方々のご芳名を月別に報告させていただきます。
令和４年１２月から令和５年１２月までにご厚情を頂いた方でございます。（敬称略順不同）

令和４年12月
田中美智子　藤井ムツ子　蔭山彰子　亀岡友愛園後援会　齋田信夫　松本正二
京都聖徒教会　安部洋子　安倍恵子　大原　健　並河豊喜　岡部友子
島本キリスト福音教会

令和５年１月
亀岡聖書バプテスト教会　京都聖徒教会　小石照美　菅　恒敏　中村いく
丹波新生教会

令和５年２月
京都聖徒教会　亀岡友愛園後援会　萩谷亜子・原田尚子　京都復興教会

令和５年３月
京都聖徒教会　亀岡友愛園後援会　安倍恵子

令和５年４月
上島滋之　松本敏照　京都聖徒教会　前渕博明　なでしこ美容室㈱　大西昭人
安倍恵子

令和５年５月
京都聖徒教会　田中美智代　亀岡友愛園後援会　安倍恵子

令和５年６月
京都聖徒教会　藤田抄子　亀岡友愛園後援会　安倍恵子

令和５年７月
山田節夫・絢子　京都聖徒教会　亀岡友愛園後援会　安倍恵子　成瀬哲雄
本梅町自治会　前渕　功　芋生カツ子

令和５年８月
亀岡友愛園後援会　京都聖徒教会　亀岡聖書バプテスト教会　桑原正治　安倍恵子
蔭山彰子　田中美智代

令和５年９月
京都聖徒教会　安倍恵子　京都復興教会

令和５年10月
京都聖徒教会　亀岡友愛園後援会　安倍恵子　なでしこ美容室㈱

令和５年11月
西村久子　亀岡友愛園後援会　大原智明　京都聖徒教会

令和５年12月
藤田抄子　蔭山彰子　竹内美知栄　京都聖徒教会　木内五郎　亀岡友愛園後援会
丹波新生教会　田中美智代　岩崎國宏・功子　安部洋子　岡部友子

ルーキーです！
よろしくおねがいします！

林　紀代美
訪問介護　介護員

令和５年９月から働かせて貰っています。皆様の優しさに甘えず、生涯現役を目指して気張ります。
宜しくお願いします。

白石弘恵
訪問介護　介護員

令和５年６月からホームヘルプステーション中矢田にパートで入職させていただいた白石です。
数年のブランクがありましたが、先輩方の指導・アドバイスをいただき、言葉使いや時間内で手際よい業務が出来るようになりました。
ご利用者様が住み慣れた家でその人らしく過ごしていただけるよう支援したいと考えています。
よろしくお願いします。

宮田　美佐子
すずらん　介護員

小規模多機能型居宅介護すずらんに令和５年２月に入職させていただきました宮田と申します。
利用者様に楽しい和やかな時間を過ごしていただける様に丁寧な対話ができる介護士を目指していきます。どうぞよろしくお願い致します。

松田　玲子
特養　環境整備員

令和５年10月から仕事をさせていただいています。
利用者様に気持ちよく過ごして頂けるようにと思っています。
よろしくお願いします。

保田百合子
特養　環境整備員

昨年３月から３階ユニットの居室清掃とシーツ交換をさせていただいております。
仕事に出た経験も少なく当初は慣れない仕事にクタクタでした。
３日目から一人で任せられたもののやってみると細かいことで分からないことが多々あり、その都度介護士さんに聞いておりました。
皆さんとてもやさしく親切に対応して下さり、とても感謝しております。
高齢になっても元気に働けることに喜びを感じながら仕事をさせていただいております。
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

チャンティミハン
特養　介護員

初めまして。
11月より入社いたしました。
ベトナム出身です。
1日でも早く仕事を覚えられるよう努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

川島一樹
特養　介護員

全く未経験でお世話になる事になりましたが、ようやく日々の業務に慣れてきました。
今後も少しずつ前進していければと思います。

ブイティリン
特養　介護員

私が亀岡友愛園で介護員として1年が過ぎました。
毎日ご利用者に笑顔で寄り添いたいと思います。
よろしくお願い致します。

井上美智代
特養　看護師

令和5年3月頃に入職しました。
利用者様の健康管理と支援に努めていきたいと思います。
よろしくお願い致します。

石村小由里
特養 介護員

令和5年3月より夜勤専従にて入職させて頂きました。
介護歴は約13年になります。
特養は初めてでとても不安がありましたが、職員の方々が親切、丁寧に教えて下さり、今は不安もなくとても楽しく仕事をさせていただいております。
これからもよろしくお願い致します。

木村理恵子
特養　介護員

利用者様の生活支援はじめ沢山笑顔を見れるよう先輩方とともに頑張って行きたいと思います。

後援会会員名簿

社会福祉法人友愛会後援会の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。
「友愛」の機関紙を発行して、後援会員の名簿を掲載し、ご報告に代えさせていただきます。

（令和５年１１月現在　敬称略　順不同）

伊藤　望　茨木福夫　植村良彰　王鞍静子　大西啓造　大西幸子　岡田淳子
岡部友子　小畑幸代　金谷恵美子　菅　恒敏　菅　洋子　亀岡聖書バプテスト教会
木村丈司　京都ハリストス正教会婦人会　神戸照代　佐々木初代　澤野井慶子　清水　潔
清水宏子　清水敬子　千足創三　千足和子　高畑恵子　田中　顕　北村ちづ
遠山ミチコ　長尾研司　中川紀子　中西俊弘　中村いく　村上　宏　村上すみ子
丹羽はるみ　韓　守信　人見光雄　樋口久美子　廣澤悦子　福嶋明美　藤井ムツ子
藤田抄子　藤野孝雄　藤野裕子　前渕博明　前渕美佐子　松本正二　三村幾久子
村上ヨシコ　森　美由起　安福美代子　山田節夫　山田絢子　山本冨美子　山本貴美
力石明子　リンカンリチャード・ベル節子　青木　薫　新　久雄　伊藤真由美　頴川英宜
大下美和　大石和代　蔭山佐代子　川勝沙紀　川坂由佳　川村健司　倉石賢治
栗田一平　五代喜代美　小早川広恵　小森智仁　小森優香　小林恵子　澤田尚樹
塩見和江　柴田一馬　清水裕子　高坂洋介　高坂晶子　津崎順也　寺嶋浩子
富井　香　内藤久美子　長野真紀　中澤妙子　中村美恵　鳴瀬慎太郎　能勢幸浩
野本誠喜　畑　昌平　服部素子　平八重朝雪　廣瀬竜介　福庄隆樹　福田　朝
藤井　操　堀越千鶴子　前渕　功　前渕　豊　松田裕子　松本理恵　山内紀子
山田美香　吉田美穂　渡壁義哉　下村由起　木村理恵子